

平成 28 年度日本学生支援機構海外留学支援制度（協定受入）

平成 28 年度日本学生支援機構海外留学支援制度（協定受入）に「バイオ産業と生物多様性」プログラムが採用されました。

このプログラムは、タイを代表する 4 つの大学からなるコンソーシアム（マヒドン大、モンクット王トンプリ工科大学（KMUTT）、カセサート大、チュラロンコン大）と本学学術協定校のフィリピン大学ロスバニョス校と連携して実施する海外ラボ・スタディ・プログラムです。「生物資源と環境」に関連するテーマについて学ぶタイとフィリピンの博士前期・後期課程の学生を対象として、バイテクノロジー研究能力の向上を図り、研究のバイオ産業への実用化の現状と問題点を理解し、生物多様性の問題を共同で協議して相互理解を深めることを目的として行っています。

本プログラムにおいて、タイ・カセサート大（1名）チュラロンコン大（4名）マヒドン（3名）KMUTT（2名）フィリピン大学ロスバニョス校（1名）より計 12 名の参加学生が来日しました。そのうち当センターでは 8 名を受け入れました。

なお、第 1 期は SGU 奨学金を利用し、カセサート大（2名）チュラロンコン大（1名）マヒドン（1名）KMUTT（2名）からも計 6 名の学生が来日しました（うちセンター受入れ 2 名）。

また、2 期、3 期には本学の Frontier-Lab mini (FLm) プログラムでそれぞれ 2 名、3 名の学生を受け入れ、同じ内容で研修を行いました。

第一期 2016 年 9 月 7 日－10 月 9 日・・・6 名（センター受入れ 2 名）（SGU 6 名）

第二期 2016 年 10 月 11 日－11 月 13 日・・・4 名（センター受入れ 2 名）（FLm 2 名）

第三期 2016 年 11 月 15 日－12 月 18 日・・・7 名（センター受入れ 5 名）（FLm 3 名）

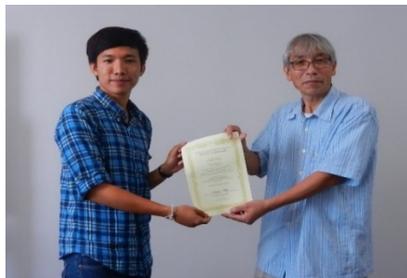
第四期 2017 年 1 月 5 日－2 月 9 日・・・1 名（センター受入れ 1 名）

第 1 期 6 名	9 月 7 日－10 月 9 日 (センター受入 2 名) ※SGU	マヒドン	1 名
		KMUTT	2 名
		チュラロンコン	1 名
		カセサート	2 名
第 2 期 6 名	10 月 11 日－11 月 13 日 (センター受入 2 名)	マヒドン	2 名
		KMUTT	2 名
	※Frontier-Lab mini	カセサート	1 名
		マヒドン	1 名

第3期 10名	11月15日-12月18日 (センター受入4名)	マヒドン カセサート チュラロンコーン	1名 2名 4名
	※Frontier-Lab mini (センター受入1名)	KMUTT マヒドン	2名 1名
第4期	平成29年 1月5日-2月9日 (センター受入1名)	フィリピン大学ロスバニョス 校(フィリピン)	1名

総受け入れ人数は23名(当センター受入れ10名)となりました。

【第1期】(2016年9月7日-10月9日)参加者6名



センター受入れ2名

【第2期】(2016年10月11日-11月13日) 参加者6名



【第3期】(2016年11月15日-12月18日) 参加者10名



【第4期】(2017年1月5日-2月9日) 参加者1名

